



株式会社ドラゴン

創業100年を超える愛知県大府市にある老舗運送会社『株式会社ドラゴン』は、愛知県と関東を拠点に各方面へ大型輸送を行なっています。大手物流企業の輸送で培ったノウハウを生かして、小口荷物から大口荷物までに対応し、最近では小型車両から大型のウィング車、冷凍冷蔵車まで様々な車両で、一般輸送も含め、多様化している様々なお客様に対応しています。また、2019年12月には営業拠点となるTokyo Officeを新規オープンさせ、枠にとらわれない事業展開で拡大中です。

**アルコールも薬物もトラックの運転には確実に影響を及ぼす。
プロである限り、万が一を考えて未然に防ぐ方法を会社として考えていきたい。**

今回、薬物スクリーニング検査を導入した目的は何ですか？

「薬物使用者ゼロを証明する」「クリーンな会社であることを証明する」という事を会社として行動に移すため、導入を決めました。皮脂から検査ができるというサービスを知って、**価格も他の検査に比べて安く、検査を受ける側の負担も少ない**と感じました。また、薬物使用から3日程度で検知が難しくなる唾液検査や尿検査に比べて、皮脂検査は1か月程度検知できるという事も知りました。仮に薬物使用者がいた場合でも、検査直前に使用を抑えたくらいでは誤魔化しが効かないという点にも信頼を持ちました。

検査導入時に生じたハードルなどは何かありましたか？

社内規定は少し変更しましたが、特に大きなハードルはありませんでした。ドライバーにも内勤者にも、一人ずつから検査同意書は取得しましたが、**みんな無事に検査を受けてくれました**。検査の目的をしっかりと伝える事が大切だと思います。導入前、「仮に社員の中で陽性反応が出たら…」という心配もありました。しかし、**陽性反応が出てしまう心配を理由に検査をしないという事は、会社や個人の危険を未然に防ぐ事にはつながりません**。事故が起こってしまったからでは遅いので、検査で陽性反応が出た場合については、その場の対応をしっかりと考えていく事が大切です。まずは再検査や面談が必要にはなりますが、確実に安全だと確認ができるまで乗務させる事はできません。

薬物検査と安全について、会社としてはどのような思いを持っていますか？

日々のアルコールチェックは義務ですが、自己コントロールや依存性という点については、薬物もアルコールも同等だと考えています。**アルコールも薬物もトラックの運転には確実に影響を及ぼしますから、万が一を考えて未然に防ぐ方法を会社として考えていく必要がある**と思います。飲酒運転と同じように、「もし自分の家族が巻き込まれたら…」という事を考えると、そのような悲しい出来事は絶対に起こしてはいけないと思います。ドラッグ検査は業界問わず行っていくべきだと考えていますが、まずはプロドライバーである私たちから率先して取り組んでいく事が重要なのではないかと考えています。このような検査を積極的に取り入れる事によって、安全に対する会社の取り組みを、従業員にもより意識してもらおう事が大切だと思っています。